

平成 26 年度 市政運営会議 議事概要

日 時	平成 26 年 9 月 24 日（水） 14:00～14:10
議 題	「平成 27 年度に向けた市政取組方針について」
出席者	高島市長，貞刈副市長，中園副市長，大野副市長， 総務企画局長，総務企画局企画調整部長，総務企画局行政部長， 財政局長，財政局財政部長
決定事項	○市民ニーズや社会経済情勢の変化等を踏まえ、平成27年度に向けた政策推進、行財政改革、予算編成、組織編成に関する基本的な考え方を示す「市政取組方針」を決定するもの 別紙 1 … 平成27年度に向けた市政取組方針について(通達) 別紙 2 … 平成27年度に取組みを強化すべき施策
議事要旨	【大野副市長】 ・モラルマナーについては、何をもって定着してきたか、向上してきたかの判断基準が難しい。それゆえに、全職員がそれぞれの職場において、市民や職員に浸透するように、効果的、効率的な手法を模索しながら、粘り強く取り組んでもらいたい。 【中園副市長】 ・平成 27 年度は、国家戦略特区，天神・博多駅・ウォーターフロントの都心 3 拠点の形成，セントラルパーク構想など重要なプロジェクトの起点の年であり，新しい福岡に生まれ変わる，最初の一步を踏み出す年となる。限られた予算であることは十分認識しているが，ビルドアンドスクラップを徹底し，市役所一丸となって，スピード感をもって取り組んでほしい。 【貞刈副市長】 ・市税収入の伸びはあるものの，それ以上に行政ニーズは高まっている。職員についても大幅な増員はできない。指定管理をはじめとした民間活用の促進や，事業・組織の最適化を図りながら，適正な行政運営に取り組んでもらいたい。

【高島市長】

- ・昨年、福岡市の総合計画ができ、長期、中期、短期と取り組むべきことが明確になった。福岡市は、その取組みを加速させる国家戦略特区というエンジンをいただいた。特区の集中取組期間は2年間であり、特区プロジェクトを形作るチャンスは今回の予算編成しかない。全庁挙げて、予算化というかたちで特区を推進してもらいたい。
- ・それから、ビルドアンドスクラップの視点。少子高齢化への対応など、今必要な施策に果敢にチャレンジしていくと同時に、既存の事業の必要性も検討してほしい。費用対効果をしっかりと見定めながら予算編成に臨んでほしい。